



べんかばらごうし

第7号

1997年7月発行

●編集・発行 社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会 〒604 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011



中 京
探 訪

………
祇園祭

伝統に新しい光を

祇園祭りに思う

京都生活工藝館無名舎の吉田孝次郎さん（60歳）。南観音山代表、祇園祭山鉦連合会の副理事長です。生活工藝館でもある吉田さんの自宅は、伝統的な京都の町屋の居住まいを今に伝えていきます。

四季のしつらえ、たたずまいの様式美……涼しげなよし戸にしても、網代（あじろ）にしても、90年は経っているものだという事です。

「普段の生活の中では質素節約をしながら、時代を越えて受け継がれるものを選び、大切に使う。これが京都人の生活の文化なんです。祇園祭の装飾品も同じことで、散財する祭りではなく、蓄積型の祭りやからこそ500年の歴史を誇れるのです」

「祭りを継承させていくのに、一番大切なものは『人』（後継者）の存在です。それも『かず』合わせの『人』ではあかん。この土地で生まれて、育つ。じいさんやばあさんや近所の年寄りの話を聞いて大きくなった。そうして成長した若者がやがて40代、50代になり、旦那になった時に初めて祭りを担う。目に見えない生活の文化を引き継ぐ地域の後継者こそが、祇園祭次代の担い手になるんです。祭りとは1年365日の集大成のようなもんですから、祭りの伝統を守り継承させることは、日々の暮らしそのものを大切にすることですかなあ」

祇園祭に対する吉田さんの熱い想いが伝わってきました。

身近に福祉施設があり

ボランティア活動もいっぱい

そんな町が中京区社会福祉協議会の願いです。

主要事業の内容

1

地域福祉施設 建設促進 委員会の設置

中京区は高齢化や少子化が進展する中で、福祉の充実がきわめて求められる地域です。しかし区内には、在宅福祉をささえる福祉施設が少なく、福祉の需要に応えきれない状況が続いています。こうしたなかで、京都市では小学校の統合によるその跡地活用の概要を示していますが、その跡地を福祉充実のためにより有効に活用されることが必要です。そこで、中京区社会福祉協議会では、地域の関係団体・機関により「地域福祉施設建設促進委員会」を設置し、元小学校の跡地を活用した公的福祉サービスの拡充と住民福祉活動の発展のために必要な拠点のあり方について検討し、その建設を促進していきます。

2

高齢者 ミニデイサービス 事業の充実

中京区地域福祉センターでは、虚弱なあるいは痴呆症状のある高齢者の方々を対象に、毎週月・水・金曜日に高齢者ミニデイサービス事業を実施しています。昨年度実施当初、一日五名ほどの利用で始まりましたが、日に日に利用希望が増え、現在



3

介護家族を支える 取り組みの推進

では利用登録者数三八名、一日の利用者数は一〇名〜一二名となり、利用待機者の方も八名あり、今後利用を希望される方々が増えていくと予測しています。高齢者の介護が深刻な問題となっている今日、この事業をより充実させていくことが必要であるとともに、学区段階でこうした事業を実施していただくことを期待しています。

介護問題は今や国民全体の問題となってきました。

本年二月に実施しました「介護家族の集い（リフレッシュ事業）」でも、参加された介護家族の方々より、「高齢者を介護している家族がもっと交流や介護の勉強をしたい」との

要望が出されました。

そこで、中京区社会福祉協議会では、介護家族の皆様がお互いに支え合い、交流や学び合う機会をつくるために「中京区高齢者の介護家族の会」を発足すべく現在、準備をすすめています。

より多くの介護家族の皆様にご入会いただけるような取り組みをすすめます。



介護家族の日帰り交流会

社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会

平成九年度事業計画

重点項目

(一) 地域福祉の充実とボランティアの育成をはかる拠点を整備するための検討とその建設促進をはかります。

(二) 心身機能が低下した高齢者や介護家族を支援するために必要な事業を充実させます。

(三) 障害のある方々への理解を深めるための取り組みを実施します。

(四) 青少年の福祉教育に取り組んでいきます。

(五) 中京区地域福祉センター並びに区ボランティアセンター事業を充実させます。

(六) 学区における地域福祉を発展させるために必要な事業を普及させます。

4 中京区社会福祉大会の開催

去る四月二二日、午後二時より、区内の社会福祉関係者三〇〇名の出席を得て、中京区社会福祉大会を開催しました。(京都全日空ホテル) 本大会は、中京区社会福祉協議会が社会福祉法人格を取得してはじめて開催したもので、当日は当協議会が製作したミニデイサービス広報ビデオ「笑顔がいちばん」を上映した後、「超高齢社会に対応する在宅福祉をめぐして」というテーマでシンポジウムを行いました。シンポジウムのなかでは、シンポジストである在宅介護支援センター、京都福祉サービス協会、京都市社会福祉協議会等の方々より、超高齢社会にむけての高齢者の現状や介護問題の深刻さ、ネットワークづくりや福祉サービス充実の必要性について報告があり、そ



れをうけてコーディネーターである安川良子氏(中京区社協支援企業代表)より、高齢者問題を地域の課題として受けとめ、社会全体で高齢者や介護家族に住みよい地域づくりをすすめていくことが求められているのではないかと、この提起がありました。

シンポジウム終了後、次のとおり大会決議を行いました。

一、中京区におけるボランティア意識の醸成と活動の育成がはかれる機能を備えた中京区ボランティアセンター・中京区社会福祉協議会事務所、並びに在宅の高齢者・障害者・子育てを支援できる施設の建設促進を目指す。

二、在宅高齢者や介護家族対策をより積極的に推進するため、デイサービス待機者対策の制度化を促進する。

5 障害について理解を深める事業の推進

本年度は、聴覚障害について理解を深め、そのコミュニケーションの一つである「手話」に接していただくことをテーマとして、七月三〇日(水)八月二七日(水)にかけて、計四回の手話ボランティア講座を開催します。詳しくは八ページに掲載しています。

6 青少年の福祉体験事業(ユースアクション97)の実施

いじめ、家庭内あるいは校内暴力、登校拒否、不就労生活者への襲撃事件等々、青少年問題の断片がマスコミを通じて報道されていますが、こうした目に見える問題行動の下には、青少年全般に共通した問題が見え隠れしているように思われます。

現在の児童は、これからの二世紀を担う大切な役割があります。そこで、このたび青少年の皆さんが人にふれ、優しさにふれ、自らの行き方について学んでいただくために、福祉施設での体験事業を夏休み期間に実施することにしました。詳しくは、八ページに掲載しています。

7 ボランティアセンター事業の充実

昨年度より開設しましたボランティアセンターでは、ボランティア活動をしてみたい、ボランティアさんをさがしている、ボランティアに関心があるので勉強してみたい等、ボランティアに関するあらゆる相談や入門講座の実施等々をおこなっています。区内のボランティアの拠点として、ボランティア活動の輪が広がるよう事業の充実をはかっていきます。

各学区において福祉のまちづくりをすすめるために、次の事業の実施促進をはかります。

○在宅老人ふれあい事業

ひとり暮らしの高齢者の会食会や

茶話会による交流事業等

○障害者地域交流事業

障害について学びあい、ふれあい、

支えあうための事業

○寝具クリーニングサービス事業

寝たきりの高齢者等の布団類を丸

洗い乾燥する事業

○ボランティア育成事業

ボランティアスクール等の開催

○小地域広報紙発行事業

地域の福祉啓発のために学区社協

だよりを発行する事業

○ふれあいいきいきサロン事業

レクリエーション活動を通して高

齢者の健康増進と社会参加をはかる

事業

○ふれあいミニデイサービス事業

介助の支援を必要とする高齢者や

その家族を支えるために、地域でふ

れあい型のデイサービスに取り組み

事業

○あつたか訪問ネットワーク事業

支援を必要とする高齢者や障害の

ある方を地域であたたく見守りふ

れあう活動

わが学区の福祉を向上させるために 担い手づくりに取り組む

前進する
学区社協

期待される福祉の担い手に！

朱雀第六学区社会福祉協議会

朱六学区社協は、地域のすべての方々が福祉のことを常に心にとめ、かかわっていただくために、学区内すべての各種団体によって構成されています。

しかし、その事業の推進については、厚生大臣や市長から委嘱された民生児童委員・主任児童委員・老人福祉員などに、おんぶに抱っここの状態でしたが、最近の学区内で福祉問題をかかえる方の願いや要求の多様化に対応できる、学区の福祉を高めていくことが急務と考え、昨年一月に学区自治連合会が結成されたのを契機に、学区社協の組織再編と強化をはかりました。参加団体も福祉関係にしぼり、従来の事業に専従された委員やボランティアに関心をもつ方々を大切に育て、委員一同、常に研鑽を積み重ねて、期待される福祉の担い手として、学区社協の取り組みをすすめていきたいと考えています。

各種団体と福祉委員で

心のこもった活動を

龍池学区社会福祉協議会

元龍池小学校区は、東は烏丸通りより西は新町通りまで、北は二条より南は三条までの、中京区内でも最小区域と思えますが、百年以上続く老舗の数多い由緒ある地域です。

社会福祉の活動は、地元自治連合会の傘下のもと、昭和三〇年頃より、民生委員の方々を主体として敬老会をはじめ、ひとり暮らし高齢者や障害でお困りの方々に心のぬくもりを感じていただけるよう、年数回の昼食会と歳末慰問等、地道ながらその取り組みをすすめてまいりました。

目標にむかって前進！

柳池学区社会福祉協議会

柳池学区も高齢化がすすみ、一人住まいの高齢者の比率が高くなってきた今日この頃、社会福祉協議会の役割がいよいよ大切になってきました。

一人住まいの高齢者の方々は、どうしても家に閉じこもりがちのため、如何に近所の人々と接してもらえるか、ということを考え、当学区では呼びかけ運動を行っています。「今日はお元気ですか」この一言を大切に高齢者と接しています。

これからも、社会福祉各町委員さんなどのような組織づくりを成していけばよいのか考えているところですが、幸い民生委員さんにも協力していただき、今後の事業についていろいろと話し合いを続けているところです。

また、現在活動していただいている方々は中年以上であり、家庭の主婦が多いので時間に制限があります。次の目標として、若いボランティアの方々がどうしても必要であり、主旨に賛同し協力してもらえよう努力していきたいと思っています。目標が大きく遠くても、足元をしっかりと見つけて、牛歩であっても一歩一歩前進していきたい。

平成9年度 賛助会費

誠に いただき 協力 ありがとう ございました

中京区内の地域福祉を発展させるために、区民の皆様へ平成9年度の賛助会費をお願いをさせていただきましたところ、深いご理解とご協力をいただき、六月末日現在で総額一〇、九二二、三五〇円となりました。区民の皆様に対しここに謹んでお礼申し上げます。

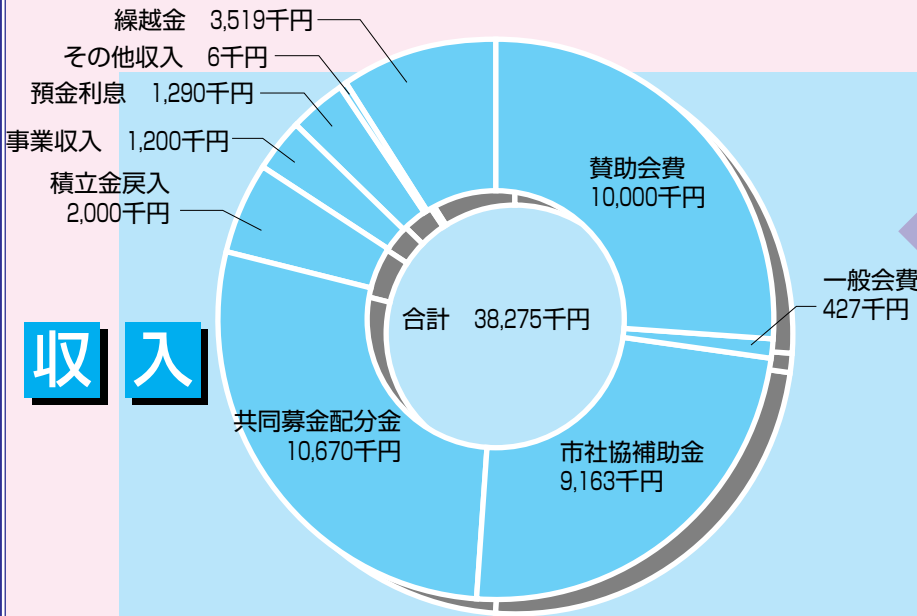
この賛助会費につきましては、その六〇％を区域全体の地域福祉事業に活用し、二〇％を学区社会福祉協議会活動に配分するとともに、二〇％を中京区社会福祉協議会地域福祉基金に積み立てさせていただきます。また、区域全体の地域福祉事業や学区社会福祉協議会事業の内容につきましては、本誌二〜四ページに掲載しております事業のとおりです。

来るべき二一世紀をむかえて、これからも高齢者や障害のある方、子ども達等だれもが住みよい地域づくりをすすめてまいりますので、今後も引き続きご協力ご支援賜りますようお願い、どうぞよろしくお願い申し上げます。

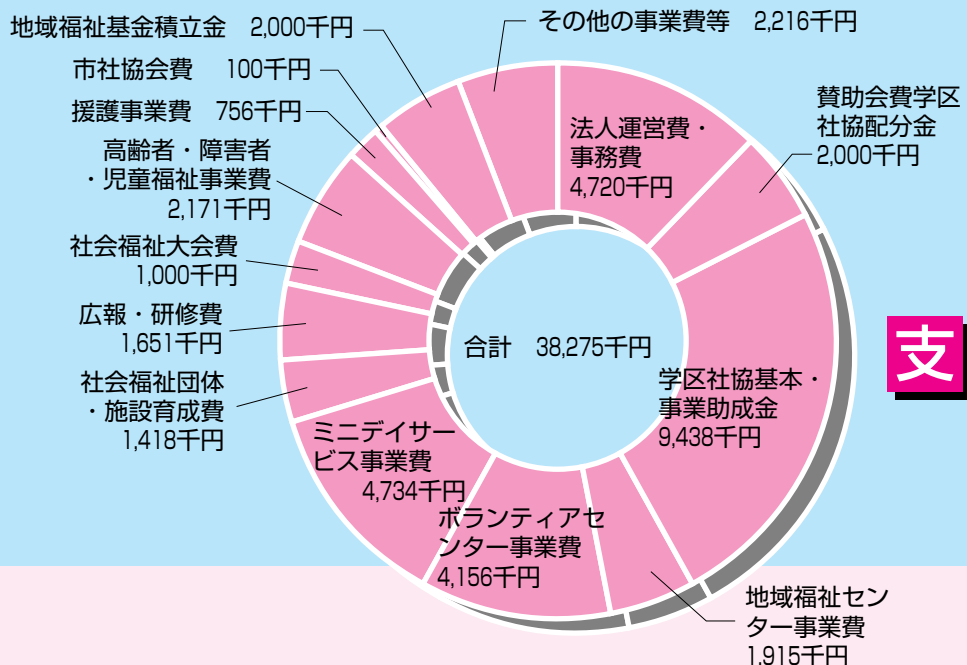
なお、平成9年度中京区社会福祉協議会一般会計予算は下表のとおりです。

平成9年度 中京区社会福祉協議会 一般会計予算

収入



支出



中京区ボランティアセンターでは 皆様の協力のもとボランティア活動推進のための 拠点づくりをめざしています。

最初は誰もが初心者です

どんな世界でもそうですが、現在、名人や達人と呼ばれている人々も最初からそうであったわけではありません。ボランティア活動も例外ではなく、経験が20年というベテランのボランティアさんでも、最初は自分で何がしたいか、何ができるのか、明確なものをもって活動された方は少ないはずです。何か少しでも興味のある活動に取り組み、その経験から自分の納得のいく活動を見つけられたのではないのでしょうか。

ボランティア活動のことで悩んでいるなら、ボランティアセンターに相談して下さい。一緒に希望の活動を見つけませんか。



ボランティアセンターって？

ボランティアセンターでは、

- 活動希望者に登録後、活動の場を紹介
- 援助を求める方に、ボランティアを紹介
- ボランティア養成講座の開催
- ボランティアグループの育成と組織化
- その他、ボランティア活動の支援などを行っています。

情報コーナー

中身連45周年記念事業

『地域福祉交流文化展』

テーマ 『明日に向かって』

私達の作品集

日・時 平成9年9月16日(火)～19日(金)
午前9時～午後5時

場所 中京区総合庁舎1階ロビー

主催 中京区身体障害者団体連合会

ご来場お待ちしております。

中京郵便局に ボランティアコーナーオープン!!

三月十一日に区内の中京郵便局にボランティアコーナーが新設されました。郵便局が国際ボランティア貯金の取り扱いを始めて今年で七年目になります。ボランティアコーナーでは、この間NGOなどの配分団体の活動を通じて蓄積された国際ボランティア活動のデータや情報を地域の皆様に広くお知らせしていくとともに、地域に密着したさまざまなボランティア活動に関する情報提供のお手伝いをするために開設されました。区民の皆様にはぜひ身近なボランティア全般の情報窓口です。いまボランティア活動に対する社会のニーズがとて高くなっています。ボランティアに関する情報だったら何でも気軽にお問い合わせください。





当区社協の高齢者ミニデイサービス事業が、昨年秋にボランティアの皆様方のご支援により発足し、利用者並びに家族の方々には大変喜んでいただいております。

ミニデイサービス事業も充実し、協力ボランティアの動きも活発化していく中で今年五月一三日の総会においてボランティアの会が発足する事になりました。命名も色々な案の中から、二条城堀端の街路樹「花水木」にちなんで「花みづきの会」と決めました。「花水木」の花のように皆さんから親しまれ、見て触れてやすらぎを覚えるような優しさにつつまれた会になると思います。中京区ボランティアに花咲いた「花みづき」…深く根を下ろし、福祉の花をたくさん花開かせる事でしょう。

高齢者ミニデイサービス事業協力ボランティア

花みづきの会発足!!

介助ボランティア並びに
運転ボランティアさん

募 集

ミニデイサービス事業も利用希望者が増え、待機者をかかえる現状となりました。より事業が豊かなものになるためにもご利用いただいている高齢者や障害のある方の介助に携わっていただけの方及びご利用される方の送迎に携わっていただける運転ボランティアさんを募集しております。連絡をお待ちしております。

介助ボランティア

体験をはじめました。

ボランティアに興味はあるが機会がない方、又忙しい中にも新たな自分を発見したい方など、ボランティアに関心のある方は「介助体験」をしてみませんか？

当区社協の高齢者ミニデイサービス事業では、随時受付けております。見学だけでも結構です。都合のよい日を見つけてお気軽にお越し下さい。(但し月、水、金) 体験後の心の豊かさが、そこから少しずつ広まる事を期待しております。



中京区社会福祉協議会が毎月実施している「ふれあいいきいきサロン」は、企画から実施にいたるまで、すべてボランティアアグループいきいき会のメンバーによって運営されています。

毎月の内容は企画会議によって決められ、どのようなものにするか、参加者に喜んでもらえるか、様々な意見が飛び交います。また、サロン当日の準備作業で、昼食の時間を割いて新聞広告を利用してサンプルづくりをした

「いきいき会の活動」

り、メンバーの「ふれあいいきいきサロン」に対する思い入れが伝わってきます。

六月の「ふれあいいきいきサロン」は、交通巡視員さんによる腹話術の「交通安全教室」に、みなさん真剣なまなざしです。色紙を使つての「貼り絵」では紫陽花を形どるのですが、参加者は一生懸命取り組みすぎて、終了予定時間も忘れるほどでした。

代表世話人の尾松さんは、地元のふれあいサロンでも意欲的に活動する行動派。「お年寄りの笑顔を励みにがんばっています。」との何げない言葉が印象的です。

いきいき会では、お年寄りと一緒に楽しく過ごしていただくメンバーを募集しています。詳細は、ボランティアセンターまで。

企画から運営まで

青少年の福祉体験事業 '97 ユースアクション

	日 時	内 容
1	9年7月28日(月)	オリエンテーション 施設見学 聞こえない人々のコミュニケーション 手話学習 あいさつ・自己紹介
2	7月29日(火)	ビデオ事業の紹介 手話学習 自己紹介
3	7月30日(水)	青空工房で働いてみよう 手話学習 話しかけてみよう まとめ

いずれも午後1時00分～3時00分

【対象者】

定員15名 中京区にお住まいの中学・高校生。又は同年齢の方。並びに中京区内の中学校・高校に通っている方。
(ただし全講座に連続して参加できる方)

【後 援】

京都市 京都府教育委員会 京都市教育委員会
京都市社会福祉施設連絡協議会
京都新聞社会福祉事業団 京都青年会議所
京都ベンチャークラブ

【会 場】

京都市聴覚言語障害センター
中京区西ノ京東中合町2 西京商業高校北

【申込先】

電話またはFAXで中京区ボランティアセンターまで
お申し込みください。

手話ボランティア入門講座

	日 時	内 容
1	9年7月30日(水)	開講式 聴覚障害者のお話し 手話学習
2	8月 6日(水)	講演「聴覚障害者と手話」 京都市聴覚言語障害センター 手話学習
3	8月20日(水)	聴覚障害者のお話し 表情の表現・読み取り 手話学習
4	8月27日(水)	みんなで自己紹介 模擬劇 修了式

いずれも午後1時30分～3時30分

【対象者】

定員30名 中京区内にお住まいで、手話に関心のある方。
(ただし全講座に連続して参加できる方)

【協 力】

京都市聴覚障害者協会中京支部
京都市手話学習会みみずく中京支部

【会 場】

中京区地域福祉センター2階 第1会議室
中京区大宮通姉小路西入ル

【申込先】

電話またはFAXで中京区ボランティアセンターまで
お申し込みください。

情報提供の お願い

中京区ボランティアセンター
では、皆さんからの情報を募集
しています。

ボランティアグループの会員
や施設ボランティアの募集な
ど、ございましたらセンターま
でご一報ください。

ボランティア個人登録 グループ登録

求
む

登録は、カードに記入するだけと簡単な
ものですので、ご協力をお願いいたします。

社会福祉法人
京都市中京区社会福祉協議会
中京区ボランティアセンター

TEL 822-1011
FAX 822-1829